

◆ 「向陽 SSH やんばる研修」 (12月18日～20日実施)

本校 SSH 事業では、(理系分野で実績がある生徒で希望者から) 選抜した生徒に対して通常授業ではなかなか体験出来ない研修を実施しています。やんばる地域は今年度「世界自然遺産登録地」となりました。その貴重な自然を理解し、積極的に関われる人材が、向陽高校から輩出されることを望みます。以下は 12 月 18～20 日の研修の様子です。



【JAXA 沖縄宇宙通信所 見学】



【バタフライウォッチング】



【夜間観察会】

【ヤンバルクイナ】

初日最初の研修は「JAXA 沖縄宇宙通信所」での施設見学および説明パネルを見ての学習でした。次に「やんばる学びの森」(宿泊施設周辺)で「バタフライウォッチング」を体験しました。「夜間観察会」では国頭村安波(世界自然遺産地)で、2 班に分かれてそれぞれガイドによる案内の元、個人ではなかなか行けない溪流コースで観察会を実施しました。ヤンバルクイナが樹上で休息している様子(右上図)や天然記念物のナミエガエルを見ることが出来、またイシカワガエル、ホルストガエルの鳴き声も聞き、貴重な体験が出来ました。



【与那フィールド演習林での実習】



【琉大農学部 研究センター】



【高嶋先生による講義】

2 日目は琉球大学農学部附属研究施設「亜熱帯フィールド科学教育研究センター与那フィールド」や環境省「ウフギー自然館」での研修を行いました。また奥間川では「水生生物調査」を体験しました。琉大農学部：高嶋先生による講義では、やんばるの森を戦前から現在までデジタル画像で解析することで遷移を考察し、演習林内の研修では、樹木の太さを間近に見る事で、樹木の成長にすごい時間がかかることが実感出来ました。



【宿泊施設 やんばる学びの森】

環境省施設「やんばる野生生物保護センター：ウフギー自然館」では、上席自然保護官(安藤様)による環境省(国の自然保護行政)の役割やレンジャーとして関わった体験話など貴重な講義を拝聴しました。

その後、奥間川に移動し「河川生物の調査」を体験しました。沖縄島南部には水質のきれいな溪流がほとんど無いため、トビケラ類の幼虫やカワゲラ、サワガニ類、イシマキガイなどを採集し、同定しました。きれいな水質に感動した生徒達は、肌寒い中で精一杯頑張っ活動していました。



【環境省職員による講義】



【採集生物の同定】



【奥間川で河川調査】

夕方の研修は、生徒達が楽しみにしていた星空観察会です。講義の後、曇り空が晴れるまでグループ毎で天体望遠鏡を組み立て、近くの目標をしっかりと見ることが出来るか指導を受けました。その後、惑星や月の観察を行いました。あいにくの曇り空でしたが、木星や土星を観察することができました。



【星空観察会】



【星空について講義】



【天体望遠鏡組み立て】

最終日は、国頭村にある比地大滝の遊歩道周辺の自然観察会です。沖縄本島最大の落差がある「やんばるの自然」で溪流を体験できるコースを歩きました。



【溪流の植物観察】



【溪流沿いの様子】



【比地大滝前】

今回の2泊3日では、琉大農学部附属教育センターや環境省ウフギー自然館、JAXA 沖縄宇宙通信所、やんばる学びの森スタッフ・ガイド等の皆様に多大な協力を頂き無事、研修が実施出来ました。世界自然遺産(やんばる)で生徒達は大いに自然環境を満喫し、多くを学ぶことが出来ました。この研修成果は、2月の向陽SSH生徒研究発表会で全校生徒へ報告し、貴重な体験を共有したいと思います。